

阿蘇広域行政事務組合公告第3号

令和2年2月25日

令和2年2月組合議会定例会の一般質問について次のとおり公表します。

順番	議員氏名	質問事項	要旨
1	園田 浩文 (阿蘇市)	1. 阿蘇カルデラスーパーマラソンについて	① カルデラスーパーマラソンのこれまでの実績について (時期・参加者数・職員配置等) ② 大会運営費と収支について ③ 発着点・距離等の検討について

## 質問、答弁の内容

### 1. カルデラスーパーマラソンについて

#### ○議員

一般質問の通告をさせていただきましたところ、本日の一般質問になった訳でございます。

本日の一般質問の内容に関しましては、現在中止されております「カルデラスーパーマラソン」について執行部の方にお聞きしたいと思っております。

この大会は、平成2年から平成27年まで25回実施されております。私も、50kmで1度走らせていただいておりますし、熊本城マラソンの方も2回から5回まで、4回連続で抽選に当たりまして、フルマラソンの方にも走らせていただいております。その中で、かなり今回の熊本城マラソンにも阿蘇郡市の方から参加がっております。私も知り合いから、スーパーマラソンの開催については、いつ頃どういう予定があるのかというのを何人にも聞かれております。私も大変楽しみにしているマラソン大会でございます。

そこで、執行部の方にお聞き致します。まずは、今年度の有無について説明をお願いしたいと思います。

#### ●執行部（管理者）

園田議員から「カルデラスーパーマラソンについて」のご質問ですが、平成28年の熊本地震から阿蘇カルデラスーパーマラソンは、中止が続いております。これは、道路等のインフラ整備の復旧が完了していない為でございます。しかしながら、令和2年度内に国道、阿蘇大橋、JRが復旧すると伺っております。

新聞でも報道されましたが、今月の14日に阿蘇カルデラスーパーマラソン実行委員会が開催されまして、その中で、道路、JR等がすべて復旧した後の令和3年6月に復興マラソンということで、周知徹底し開催するという事で、全員一致で決定いたしました。議員の皆様には、ご協力をよろしくお願い致しますと同時に、質問の詳細につきましては、事務局次長より説明をさせて頂きたいと思っております。

#### ●執行部（事務局次長）

それでは、ご質問の「阿蘇カルデラスーパーマラソンについて」ご説明をさせていただきます。

ただ今、管理者がご説明申し上げましたとおり、熊本地震により、平成28年からスーパーカルデラマラソンは中止が続いておりますが、令和3年には、復興マラソン大会として再開することとなっております。先だっで行われました、阿蘇カルデラスーパーマラソン実行委員会で、秋の開催をご提案いたしました。阿蘇カルデラスーパーマラソンは、6月開催が定着しており、全ての復旧工事が完了した後に、従来通りの6月開催と決定しております。

以上でございます。

○議員

ありがとうございます。

今回は、全国的にコロナウイルスの発生により、各マラソン大会、数多くの方が集まる催し物については、大体全国どこをみても中止、延期というのが決まっておりますので、例えば今年やるにしても、これは中止になったんじゃないかなというふうに思っているところでございます。

それでは、手元に資料がありますけれども、実績の方の説明を簡単をお願いしたいと思います。

●執行部（事務局次長）

それでは、ご質問のこれまでの実績についてでございます。

時期としましては、毎回6月の第1土曜日というふうに開催をしておりました。100 kmの方は、午前5時スタートで、50 kmは、午前11時スタートでございまして、午後6時半が、共にゴールの閉門時間でございます。

参加数につきましては、お配りしておりますA4の資料1の真ん中の表に第19回、平成20年度から平成28年度までのエントリー数を記載しております。第19回が、1,507名で、その後1,500名前後でございましたが、第23回は1,775名となっております。これは、第22回までは、100 km、50 km合わせて、1,500名の募集でございましたが、第23回、24回は、100 kmを1,000名、50 kmを600名の募集で、第25回、26回は、100 kmを1,200名、50 kmを400名の募集でございました。ちなみに、中止となりました、28年度は、合計の1,952名でございました。

職員配置でございますが、資料2の方でございます。これは、開催されました直近の第25回のスタッフ動員数でございます。上の表が、各関係機関動員数でございまして、合計676名のスタッフ数でございます。下の表が、各市町村から応援していただきました担当のスタッフ数となっております。

動員数としては、以上でございます。

○議員

参加費の方が、100 kmは1万4,000円、50 kmの方が1万1,000円とお聞きしますけれども、この参加費でほとんどが賄えるというような解釈でよろしいですか。

●執行部（事務局次長）

参加費でございますけれども、今現在が1万4,000円と1万1,000円。これは、またちょっと収支の方に入ってまいりますけれども、表の1の上の方に決算状況が入っております、これは繰越金を除いた収入、そしてうちの参加料と支出ということで表を載せておりますけれども第19回につきましては参加料が100 kmは1万3,000円、50 kmが1万円でございます。そして20回から1,000円ずつ上がりまして1万4,000円と1万1,000円で、その後ずっと続いているような状況でございます。

収支についてご説明させていただきますと、これも実施されました直近の第 25 回 (27 年度) を見ていただきますと、収入の方で 2,588 万 7,197 円、但し繰越金は除いております。その内参加料が、2,438 万 2,000 円、支出が 2,713 万 274 円で実質単年度収支は、124 万 3,077 円の赤字となっております。但し、この年度は、繰越金が 594 万円程ございましたので、その分で補填をしておるところです。中止となりました 28 年度末で、繰越金は、482 万 4,000 円となっております。このことから、参加費につきまして、見直しの検討が、必要ではないかと考えております。と申しますのも、他のウルトラマラソン 100 km 部門だけでございますけれども、27 大会を調査させていただきました。その時の参加費平均が、1 万 7,000 円程でございました、うちの方とは 3,000 円位差があるような状態でございます。それにつきましても、やはり今後の検討課題であると考えておるところでございます

以上でございます。

#### ○議員

このカルデラスーパーマラソンが中止になってから、阿蘇ラウンドトレイルというのが、もう 4 回目やっている次第でございますけれども、これは制限時間が 32 時間で参加費が 2 万 6,000 円と規模も大きいですし時間もかかるのでそれだけ参加費も高いのかなというふうに思っておりますけれども、それでは、単年度赤字の方は繰越の分で補填をしているという事でよろしいですかね。

それでは、3 番目の方の発着点距離等の検討について移らせていただきたいと思います。

先程、話がありましたように 100 km は南阿蘇村の方から、それと 50 km の方が波野の方から出発というふうになっております。これは、本当に私の個人的な意見ですがけれども、今、あびかの方がきれいに整備されておりますので、ゴール地点の方をいずれはあびかの方に持ってくれば、内牧の方は通過をするというところで、あそこでしたら駐車場等の心配もありませんし、内牧の中でしたら駐車スペースがないというところで選手からも少し聞いておりますので、そういうところをひとつ考えていただきたいなというのと、50 km コースというのがありますけれども、普通マラソンを走る人達は 42.195 km というのが自分のトライする距離の、何と言いますか、50 km というのはわりと中途半端な距離になってしまうので、この 50 km というのを廃止してでも 42.195 km という距離をひとつ設定したらどうかというふうに思います。

現在、波野支所から出て 50 km という事ですので、あと 7 km 弱、波野の小地野というグラウンドがあるんですけど、ここを 42.195 km の出発点にすれば参加のほうももっと多くなるんじゃないかというふうに考えておりますけれども、答弁いかがですか。

#### ●執行部（事務局次長）

お答えさせていただきます。

まず、スタートとゴール会場でございますけれども、確かに前回までが 100 km は南阿蘇村の総合福祉センターウィナス、50 km は阿蘇市の波野支所をスタートしましてゴールは内牧にございます阿蘇市総合センターでございました。

但し、今、議員さんが言われましたように、この地点、現在、駐車場の確保が難しくなっております。駐車場につきましては、警察の方から十分な駐車台数を要請されておまして、スタート・ゴール会場につきましては、変更も今後協議事項であると考えております。事務局のひとつの案としまして出ておりますのが、まず、ウイナスではなくアスペクタの方をスタート会場に、そしてゴール会場を、今、議員さんがおっしゃいましたように農村公園あびか、というふうに考えておるところでございます。これにつきましても今後の協議事項であると思っております。

また、距離でございますが、定員もございまして、現在 100 kmが 1,200 名、50 kmを 400 名の種目で行ってございましたけども、こちらも先程のスタッフ数等を見ていただきました中で、かなりの人数が必要となって参ります。スタッフの労力をできるだけ減少しなければいけませんし、また各市町村から応援をお願いしている人数もかなり多ございましてなかなか難しいところもございます。

この阿蘇カルデラスーパーマラソン、「スーパーマラソン」ということで、距離の変更あたりも以前協議をさせていただいた時に、逆に 100 kmがメインとなるウルトラマラソンというところで、距離につきましても今後協議が必要であるかなと思っております。

なかなか、スタッフの人員の問題、それとスーパーマラソンという中での距離関係、また定員数関係、なかなか難しいところもございますので、今後、阿蘇カルデラスーパーマラソンの実行委員会、及び事務局会議がございまして、その中で色々な協議をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議員

ありがとうございました。

来年は、阿蘇郡市、インフラが整備されて、できれば大々的にこのスーパーマラソンを表に出して阿蘇郡市が復興できているんだというところをアピールできるような大会にさせていただけたらなというふうに思っております。

42. 195 km、何とかできるようにお願い致します。

これで、私の一般質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。